



近くの公園や公民館など、家族みんなが分かる場所を集合場所にするのもよい。

## ① 避難場所を 確認しよう

避難する場所は、災害の規模や種類によって違ってきます。いざというとき家族で避難する場所を災害の種類別に話し合っ  
て確認しておきましょう。

- ① 地震の時
- ② 台風の時
- ③ その他の災害時

避難場所はいつも同じじゃない！

災害時に「まずは避難所！」と思うかもしれませんが、無理をして避難所に向かうとかえって危険な場合があります。自分の避難行動を確認しましょう。

### 災害発生

自分の身を守る

一時的な避難に

近くの安全な場所…公園や地域集会所など（地震の場合は津波避難ビル）

身の安全の確保のために

避難広場…大きな公園や学校の校庭など

自宅で生活できない場合に

避難所…学校の体育館など

台風など風水害災害時に

少数で自主避難する場合に

地域避難場所…公民館など

## ② 避難場所まで 歩いてみよう

避難経路を確認するために、家族みんなで実際に避難場所まで歩いてみましょう。

- ・ブロック塀や自動販売機など倒れそうなものがある場所を地図にメモして危険を予測しましょう。
- ・避難経路がふさがった場合の迂回路も確認しましょう。



自宅

### 避難するときの服装

ヘルメットなどで  
頭を保護

持ち出し品など  
荷物はリュック  
サックで

木綿製品など  
燃えにくい素材  
の長袖長ズボン

手袋もあるとよい

履きなれた靴  
底の厚い靴

